

訪日旅行は〇〇を重視！ ～広州国際旅遊展覧会来訪者の声～

北京事務所

■ 開催概要

開催地：広東省広州市

日 程：2012 年 3 月 1 ～ 3 日（3 日は一般開放日）

会 場：広州市中国輸出入商品交易会展館

出展団体数：36 の国と地域から 658 団体

来場者数：約 8 万人

■ 出展内容とその様子

クリア北京事務所のブースでは、主に下記 2 つの内容で出展を行いました。

① 「日本各地展」の開催

クリアスタッフが「日本各地展」と題したブース出展を行い、日本全国各地の観光パンフレット等の配布や DVD の放映を行うことで、地域の魅力を広くアピール。また、ブースを訪れ旅行業者担当者及び一般の来場者を対象に日本の観光に関するアンケートを行いました。

② 東日本大震災被災地復興情報の発信

来場者に被災地の復興状況を正しく伝える為に岩手県大連事務所、宮城県大連事務所、福島県上海事務所と共同で出展するとともに、被災地復興情報発信事業としてクリア北京事務所で作成した復興情報パネルの展示を行いました。

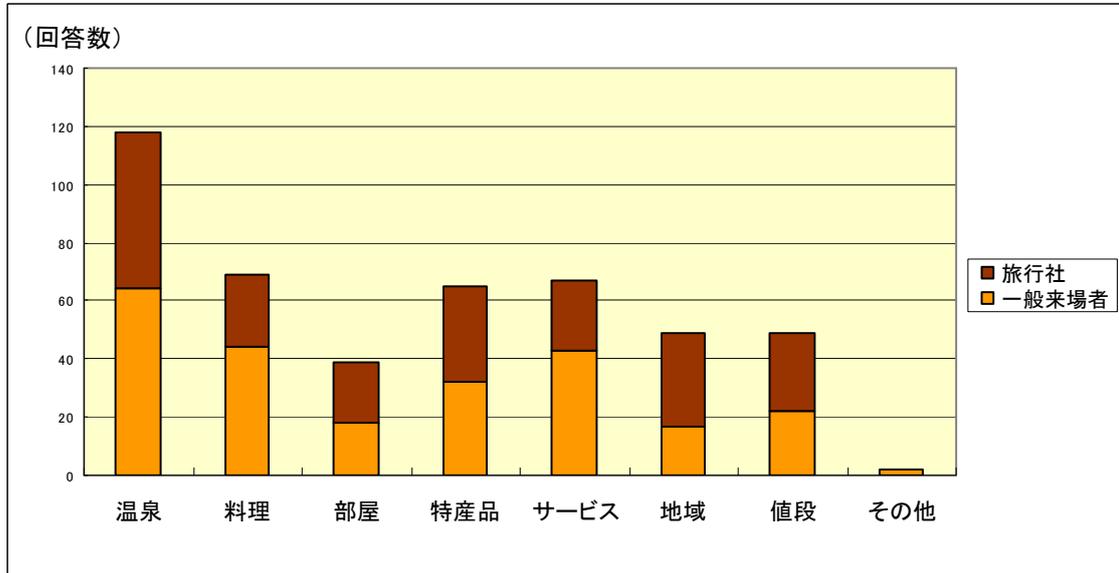
クリアブースには、初日から多くの旅行業社に訪問していただくことができました。訪日旅行部門の担当者達が、旅行商品造成の参考にするため、日本の各地方のパンフレットを手にとられていたようです。被災地ブース側に展示した復興情報パネルにも多くの来訪者に見ていただくことができました。とりわけ大学生などの若い方を中心に、関心を持っていただいていたのではないかと思います。

■ 広州の旅行業者、一般来場者の動向

クリアブースにて行った現地旅行会社及び一般観光客に行ったアンケートの結果について、抜粋してお伝えいたします。アンケートは、一般来場者 100 名、旅行業者 98 名の合計 198 名の方に協力いただきました。一般来場者については、男女比はほぼ同率（男性 52 名、女性 48 名）となっており、年代別では 20 代が 56% と最も多く、次いで 30

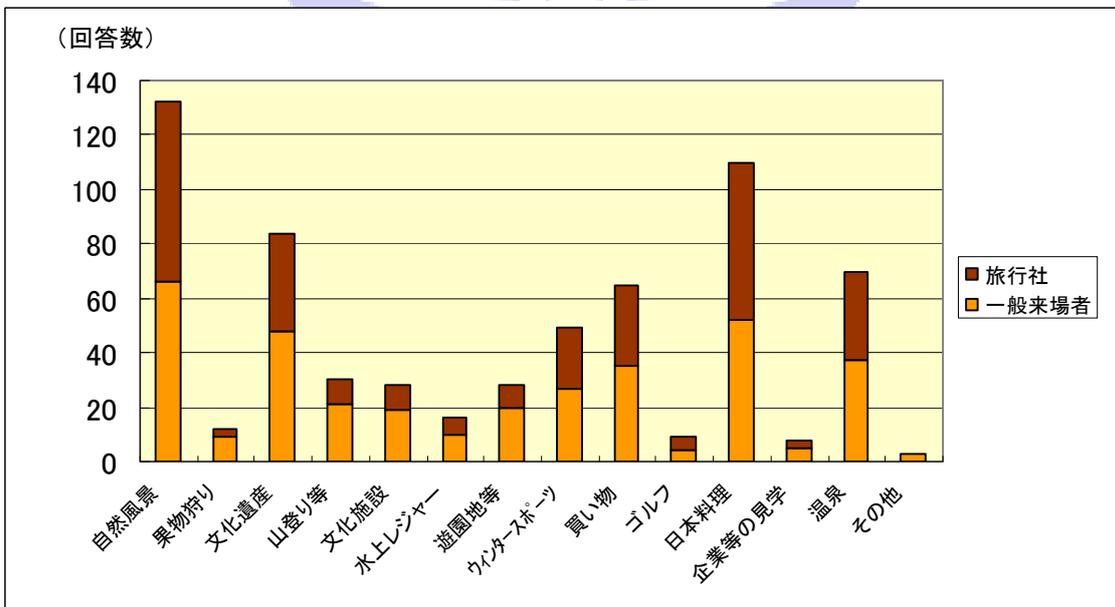
代が 27% となっており、日本を旅行したことのない方が 68% を占めました。当事務所としましては、この調査結果が各自治体の観光施策の一助となれば幸いです。なお、アンケート方法によっては回答が違って来る場合がありますので、あくまでも参考としてご覧ください。

【問】日本で宿泊場所を選ぶとき、何を重視しますか（複数回答可）



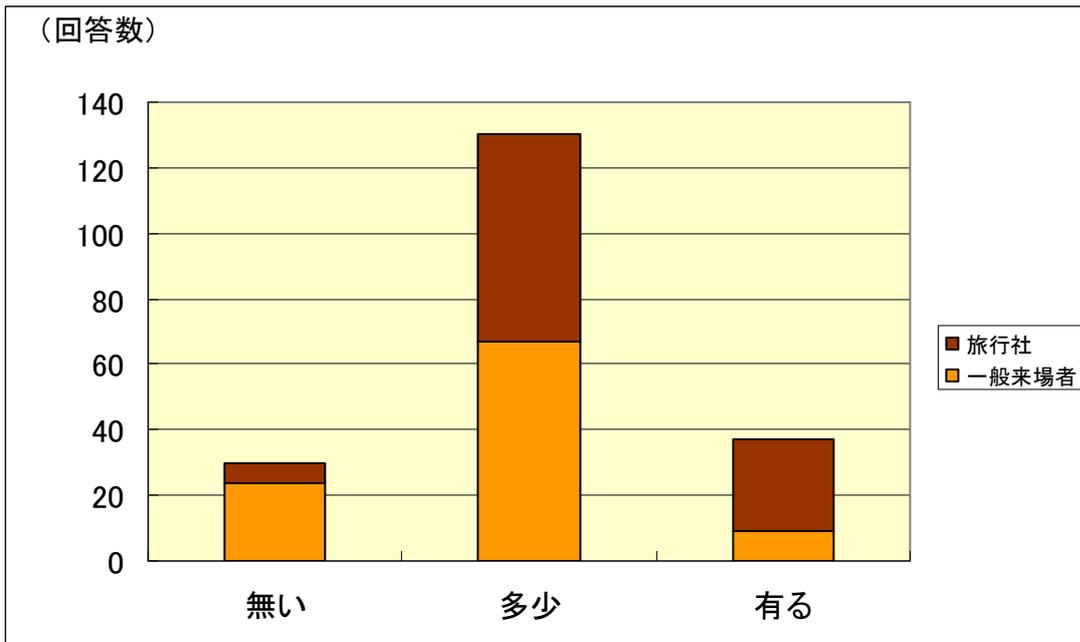
【結果】温泉や、料理、サービスなどを優先して宿泊場所を選ぶ方が多いようです。

【問】日本へ旅行に行ったときに何を最も体験したいですか（複数回答可）



【結果】「山、海などの自然風景」、「日本料理」、「文化遺産」などを選択した方が多く、日本特有の観光資源に興味関心があることが分かります。

【問】昨年3月の東日本大震災は、現在でも日本への旅行に影響があると思いますか



【結果】 旅行業者及び一般来場者の多くがまだ多少影響が残っていると考えているようです。同時に旅行業者に比べ、一般来場者の方が影響が無いと考えている人が多い結果ともなりました。

その他の質問

【問】 日本への旅行時期は何月が適していると思いますか（複数回答可）

【結果】 旅行社、一般来場者ともに3月、4月、5月が上位を占めました。桜など花の美しい季節に人気があるようです。

【問】 日本への旅行期間は何日が適当だと思いますか

【結果】 6～9日間という回答がそれぞれ全体の約6，7割を占めました。

【問】 日本への旅行費用はいくらまで出せますか

【結果】 6,000 元～8,000 元という回答がそれぞれ全体の約5割を占めました。

■ おわりに

今回の旅行展覧会において、日本からの出展は当事務所を含め3団体と少なめで、ジャパンパピリオンは少し寂しい印象もありました。しかし、それでも当事務所ブースにはたくさんの方の来訪があり、その賑わいは今年度出展を行ったどの博覧会に比べても遜色の無いものだったと思います。広州市においても日本への関心度は高いと十分感じ取ることができました。来場者に対して、日本の様々な地方の最新観光情報を一度に収集できる機会を提供することができたと思います。今後も引き続き各種博覧会等に出展し、地域の魅力を発信してゆきます。

(阿部所長補佐 東京都文京区派遣)